



- 講師：柴田光榮
(株式会社モアクリエイション 代表取締役)
清水義晴 (株式会社博進堂 顧問)
- 日時：2017年4月25日(火) 13:00~17:00
- 会場：森の共育実修所「点塾」
- 参加人数：9名
- [プログラム]
- 博進堂の全員経営
- 長寿企業に観る日本型経営の神髄
- ディスカッション

老舗企業に学ぶ、みんなが主役の経営 経営者意識を育てる 全員経営

hakushindo CAMPUS、2017年度最初の講座が開講しました！ 記念すべき初回は「経営者意識を育てる全員経営」。企業理念を日常の業務や態度にどのように実践していけばいいのかが、経営者と同じ視点に立って考えることの大切さを学ぶ講座です。

前半の清水顧問のお話では、家業である博進堂に入社するキッカケのお話から、「全員経営」という考えにたどり着いた経緯をお聞きました。父でもある先代社長の急死もあって、「経営とは何か」という問いを持ち、若くして経営者になった苦悩の末に生まれたのが「全員経営」という経営理念だったといえます。

後半はモアクリエイションの柴田光榮さんより日本の老舗企業についてお話をいただきました。老舗企業が存続している背景として歴史の中での「変革の連続」が注目されがちですが、その根っこには経営者の想いや、愚直なまでの企業文化の実践が必ずあるといえます。この実践があってこそはじめて老舗企業は常に新しい価値を社会に提供し、存続していけるのだと学びました。

どちらのお話にも共通していたことは、社員一人ひとりがイキイキと誇りを持って働いている姿が想像できたことです。「企業とは何のためにあるのか」を考えさせられる講座でした。



[講師より]



株式会社博進堂
顧問
清水義晴

この度の「博進堂の全員経営」というテーマでのお話は、博進堂精神の根っこであるとともに、私が元々嫌いだった家業になぜ入社させてもらったかという初めて打ち明ける話でした。アルバム繁忙期に、連日深夜まで残業が続いているのに、明るく楽しそうに、「仕事は祭りだ！」と声を掛けながら働く社員の人たちの姿に触れて私は心が入れ替わるような想いで、「この人たちといっしょに仕事をして大学に行くまで育ててもらった恩返しをしよう。」と思ったのです。また、博進堂は、印刷表紙、全開トジ、プレゼンシステムなど、つねに業界の先駆者であって、それを社員は誇りに思っており、全社員でつねに新しい価値を創り続けてきた歴史があるのです。



株式会社
モアクリエイション
柴田光榮

5世紀を生きる(株)虎屋をはじめとする老舗は、常に変革の波を起こし伝統が積み上げられています。その中心をなす全員経営は、経営の心を全員が具現化するコミュニケーションが欠かせません。

(株)博進堂の会長、社長はじめトップマネジメントと開放的な話し合いが続く様子に、これまでの実績の力とこれからの確かさを感じました。



いさいさとした
人間の活動が
行われた会社！

温故知新。
何度聞いても新たな
気づき、感動がある。
金銭経営、老舗企業
の底流に流れている
少し見えてきた。

参考になったし、楽しく
過ごせました。
自分のスキルアップにつな
げていきます。

今日は
よかったです。

今感じている
ワクワクを
70%以上は
活かしたい。
早くミーティング
したい！！

向
き
あ
い
た
い
です。
社
員
が
仕
事
に
気
持
ち
は
新
入

やらないよりやった方が
良い。
失敗してもやらないよりは
やった方が良い。
すべき事、出来る事、
頑張って行動にして
行きたいと思ったり。

グループでの和議の時間
がもっと
欲しかった。

二代目経営者の
「失敗してもやってみよう
やってみようか」という
言葉が聴けてよかった。
博達堂もあと4年で
「老舗企業」の仲間入りでき
常に伝統と革新の連続する
本日は、喜びの多い「場」だった
ありがとうございました。